



## 平成25年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年8月8日

上場会社名 オエノンホールディングス株式会社  
 コード番号 2533 URL <http://www.oenon.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 長井 幸夫

問合せ先責任者 (役職名) コーポレートコミュニケーション室長 (氏名) 牛込 真澄

TEL 03-3575-2777

四半期報告書提出予定日 平成25年8月8日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 機関投資家・アナリスト向け

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成25年12月期第2四半期の連結業績(平成25年1月1日～平成25年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年12月期第2四半期	40,501	0.4	1,116	△7.5	1,116	△5.2	559	0.3
24年12月期第2四半期	40,328	2.3	1,207	10.0	1,177	8.2	557	137.5

(注) 包括利益 25年12月期第2四半期 714百万円 (14.0%) 24年12月期第2四半期 626百万円 (145.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年12月期第2四半期	8.91	—
24年12月期第2四半期	8.55	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年12月期第2四半期	58,227	20,651	31.7
24年12月期	59,827	20,474	30.4

(参考) 自己資本 25年12月期第2四半期 18,435百万円 24年12月期 18,185百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年12月期	—	—	—	7.00	7.00
25年12月期	—	—	—	—	—
25年12月期(予想)	—	—	—	7.00	7.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成25年12月期の連結業績予想(平成25年1月1日～平成25年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	87,000	1.9	2,950	3.2	2,800	1.0	1,300	3.9	20.71

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年12月期2Q	65,586,196 株	24年12月期	65,586,196 株
② 期末自己株式数	25年12月期2Q	2,831,205 株	24年12月期	2,823,701 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年12月期2Q	62,757,011 株	24年12月期2Q	65,175,694 株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。

なお、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在における将来の見通し、計画の元となる前提、予測を含んで記載しております。実際の業績は、今後の様々な要因によって、大きく異なる結果となる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信【添付資料】P4「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	5
3. 四半期連結財務諸表 .....	6
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	10
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	12
(5) セグメント情報等 .....	12
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	12

○第2四半期決算 参考資料

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間(平成25年1月1日から6月30日)におけるわが国経済は、経済政策への期待感から、株式市場の活性化や消費マインドの改善がみられるなど、緩やかな回復基調を示しております。一方で、円安による輸入価格の高騰や長期金利の乱高下など、景気の先行きは依然として不透明な状況が続いております。

酒類業界におきましても、個人消費が高まっているものの、節約志向や低価格志向に加え、原材料価格やエネルギー価格の不安定さなどが、収益に影響を及ぼす厳しい経営環境となっております。

このような経営環境の下、当第2四半期連結累計期間の売上高は、40,501百万円(前年同期比0.4%増)と過去最高となりました。

利益面では、販売費及び一般管理費の低減に努めたものの、円安による輸入価格の高騰、原材料価格やエネルギー価格の上昇等が影響し、営業利益は1,116百万円(前年同期比7.5%減)、経常利益は1,116百万円(前年同期比5.2%減)となりました。一方、四半期純利益については法人税率の引き下げなどもあり、559百万円(前年同期比0.3%増)と、売上高とともに過去最高となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

**【酒類事業】**

酒類事業については、お客様起点の発想に立った商品開発を第一に考え、「安心」・「安全」が評価されているプライベートブランド商品(PB商品)を積極的に展開しました。しかしながら、昨年閉鎖した飲食店売上の減少もあり、酒類事業合計の売上高は35,409百万円(前年同期比1.1%減)となりました。利益面につきましては、販売費及び一般管理費の低減に努めたものの、円安による輸入価格の高騰、原材料価格やエネルギー価格の上昇が大きく影響し、営業利益は286百万円(前年同期比45.0%減)となりました。

酒類事業のうち焼酎においては、甲類焼酎がPB商品を中心に好調に推移いたしましたが、乙類焼酎の減少により、焼酎全体の売上高は19,341百万円(前年同期比1.0%減)となりました。

チューハイ、カクテル等の低アルコール飲料においては、アルコール分控えめの「カクテルタイム」やアルコール分高めのストロングを追加した「直球勝負」が好調に推移した結果、売上高は3,443百万円(前年同期比2.1%増)となりました。

清酒においては、市場が縮小傾向にある中、値頃感のある紙パック商品が堅調に推移したものの、売上高は3,667百万円(前年同期比4.9%減)となりました。

合成清酒においては、主力の「元禄美人」を中心に、業界トップシェアを維持したものの、需要の減少により、売上高は1,814百万円(前年同期比8.5%減)となりました。

アルコールにおいては、甲類焼酎や清酒等に使用される酒類原料用アルコールが増加したため、アルコール全体の売上高は3,130百万円(前年同期比1.1%増)となりました。

洋酒では、梅酒において、しそ焼酎「鍛高譚(たんたかたん)」と同じ原料を使用した「鍛高譚の梅酒」が、平成23年の発売以来、好調に推移し前年同期を上回りました。しかしながら、紙パック商品の減少等により、梅酒全体の売上高は前年同期と比較して減少いたしました。

ワインにおいては、国際的なコンクールのメダル受賞ワインの他、手軽で値頃感のある紙パック商品などが好調に推移したため、ワイン全体の売上高は前年同期と比較して増加いたしました。

その他の洋酒においては、P B商品のウイスキーが好調に推移したため、売上高は増加いたしました。

その結果、洋酒全体の売上高は3,173百万円(前年同期比6.4%増)となりました。

その他については、飲食店の売上が減少した結果、売上高は588百万円(前年同期比15.0%減)となりました。

#### 【加工用澱粉事業】

加工用澱粉事業については、シリアル食品用コーングリッツ等が減少したものの、菓子用やビール用コーングリッツ等が増加したことにより、売上高は2,109百万円(前年同期比3.1%増)となりました。しかしながら、利益面では、原材料価格の上昇が大きく影響し、3百万円の営業損失(前年同期は126百万円の営業利益)となりました。

#### 【酵素医薬品事業】

原薬では、ジェネリック医薬品原薬の高脂血症治療用原薬や糖尿病治療用原薬が減少したため、売上高は減少いたしました。

診断薬では、便潜血検査試薬等の減少により、売上高は減少いたしました。

しかしながら、酵素では、乳糖分解酵素(ラクターゼ)が乳製品の甘味やなめらかさを向上させる効果も評価され、海外における販売が大幅に増加したため、酵素医薬品事業全体の売上高は2,226百万円(前年同期比23.8%増)、営業利益は768百万円(前年同期比76.8%増)と過去最高となりました。

#### 【不動産事業】

不動産事業は、賃貸借契約の減少があったため、売上高は190百万円(前年同期比3.8%減)となり、営業利益は134百万円(前年同期比4.8%減)となりました。

#### 【バイオエタノール事業】

バイオエタノール事業については、販売数量の増加により、売上高は530百万円(前年同期比14.5%増)と増加いたしました。一方で利益面では、原料米単価の高騰が大きく影響し、74百万円の営業損失(前年同期は23百万円の営業損失)となりました。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

#### (資産、負債及び純資産の状況)

当第2四半期連結会計期間末の総資産につきましては、58,227百万円となり、前連結会計年度末と比較し1,599百万円の減少となりました。これは主に季節要因による売上高の減少により、受取手形及び売掛金等が減少したことによるものであります。

負債につきましては、37,576百万円となり、前連結会計年度末と比較して1,776百万円の減少となりました。これは主に未払酒税及び未払法人税等が減少したことによるものであります。

純資産につきましては、20,651百万円となり、前連結会計年度末と比較して176百万円の増加となりました。これは主に利益剰余金の増加等によるものであります。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物の残高は1,251百万円(前年同期比51百万円減)となり、前連結会計年度末と比較して316百万円の減少となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローにおける資金の増加額は、674百万円(前年同期比1,140百万円減)となりました。これは主に、未払酒税の減少額1,243百万円、たな卸資産の増加額1,164百万円等がありましたものの、売上債権の減少額3,234百万円等を計上したことによるものであります。

投資活動によるキャッシュ・フローについては、国庫補助金による収入668百万円、地方自治体からの補助金による収入79百万円がありましたものの、固定資産の取得による支出1,588百万円、子会社株式の取得による支出54百万円等がありましたので、963百万円(前年同期比586百万円減)の資金減少となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、短期借入金の増加額900百万円等がありましたものの、配当金の支払額441百万円、長期借入金の返済による支出440百万円、ファイナンス・リース債務の返済による支出30百万円等がありましたので、27百万円(前年同期比1,841百万円増)の資金減少となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年12月期の連結業績予想につきましては、平成25年2月8日発表の業績予想から変更しておりませんが、修正の必要が生じた場合は、速やかに開示いたします。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成25年1月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

この結果、従来と同一の方法による場合と比較して、当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ12百万円増加しております。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,572	1,256
受取手形及び売掛金	23,655	20,420
有価証券	—	2
商品及び製品	6,459	7,569
仕掛品	336	379
原材料及び貯蔵品	1,254	1,266
繰延税金資産	833	710
その他	890	771
貸倒引当金	△40	△23
流動資産合計	34,962	32,352
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	25,349	25,531
減価償却累計額	△16,728	△16,985
建物及び構築物(純額)	8,621	8,546
機械装置及び運搬具	30,695	31,486
減価償却累計額	△26,815	△26,881
機械装置及び運搬具(純額)	3,880	4,604
その他	2,395	2,360
減価償却累計額	△2,060	△2,096
その他(純額)	334	264
土地	8,835	8,835
建設仮勘定	416	719
有形固定資産合計	22,089	22,971
無形固定資産		
のれん	519	487
その他	499	448
無形固定資産合計	1,018	936
投資その他の資産		
投資有価証券	1,119	1,327
長期貸付金	0	0
繰延税金資産	251	256
その他	403	407
貸倒引当金	△17	△24
投資その他の資産合計	1,757	1,966
固定資産合計	24,865	25,875
資産合計	59,827	58,227



(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,726	6,279
短期借入金	880	1,780
リース債務	61	61
未払金	4,591	4,123
未払酒税	9,971	8,727
未払法人税等	1,021	373
賞与引当金	58	59
役員賞与引当金	51	25
設備関係支払手形	453	750
その他	1,283	1,090
流動負債合計	25,100	23,272
固定負債		
長期借入金	9,020	8,580
長期預り金	3,306	3,375
リース債務	94	63
退職給付引当金	1,244	1,254
資産除去債務	135	136
繰延税金負債	306	371
その他	144	523
固定負債合計	14,252	14,303
負債合計	39,352	37,576
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,946	6,946
資本剰余金	5,576	5,576
利益剰余金	6,147	6,267
自己株式	△559	△561
株主資本合計	18,110	18,228
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	61	193
繰延ヘッジ損益	12	12
その他の包括利益累計額合計	74	206
少数株主持分	2,289	2,215
純資産合計	20,474	20,651
負債純資産合計	59,827	58,227

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 四半期連結損益計算書  
 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年6月30日)
売上高	40,328	40,501
売上原価	32,581	33,115
売上総利益	7,746	7,386
販売費及び一般管理費	6,539	6,269
営業利益	1,207	1,116
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	15	15
受取賃貸料	39	38
為替差益	—	39
負ののれん償却額	41	0
雑収入	27	27
営業外収益合計	124	122
営業外費用		
支払利息	126	101
雑損失	27	20
営業外費用合計	154	122
経常利益	1,177	1,116
特別利益		
固定資産売却益	0	8
受取補償金	113	—
負ののれん発生益	—	27
その他	0	3
特別利益合計	114	40
特別損失		
固定資産除売却損	19	67
減損損失	79	—
その他	2	26
特別損失合計	100	93
税金等調整前四半期純利益	1,191	1,063
法人税等	585	483
少数株主損益調整前四半期純利益	605	580
少数株主利益	48	21
四半期純利益	557	559

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	605	580
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	35	134
繰延ヘッジ損益	△14	△0
その他の包括利益合計	20	133
四半期包括利益	626	714
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	578	691
少数株主に係る四半期包括利益	48	22

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	1,191	1,063
減価償却費	1,168	1,009
減損損失	79	—
のれん償却額	31	31
負ののれん償却額	△41	△0
負ののれん発生益	—	△27
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	21	10
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	11	△10
賞与引当金の増減額 (△は減少)	1	1
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△16	△25
受取利息及び受取配当金	△15	△15
支払利息	126	101
固定資産売却損益 (△は益)	△0	△8
固定資産除売却損益 (△は益)	19	67
ゴルフ会員権売却損益 (△は益)	△0	—
受取補償金	△113	—
売上債権の増減額 (△は増加)	2,356	3,234
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△278	△1,164
仕入債務の増減額 (△は減少)	353	△447
未払酒税の増減額 (△は減少)	△1,671	△1,243
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	△6	119
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	△741	△738
その他の固定負債の増減額 (△は減少)	56	49
その他	△72	△178
小計	2,457	1,826
利息及び配当金の受取額	15	15
利息の支払額	△157	△131
補償金の受取額	113	—
法人税等の支払額	△614	△1,035
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,815	674
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
国庫補助金による収入	11	668
地方自治体からの補助金による収入	91	79
固定資産の取得による支出	△383	△1,588
固定資産の除売却による収支 (△は支出)	△8	△26
投資有価証券の取得による支出	△1	△2
子会社株式の取得による支出	△50	△54
その他	△34	△38
投資活動によるキャッシュ・フロー	△376	△963

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年6月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△370	900
長期借入れによる収入	100	—
長期借入金の返済による支出	△545	△440
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△29	△30
配当金の支払額	△460	△441
少数株主への配当金の支払額	△14	△13
自己株式取得目的の金銭の信託の設定による支出	△550	—
その他	0	△1
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,868	△27
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△430	△316
現金及び現金同等物の期首残高	1,733	1,567
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,303	1,251

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成24年1月1日 至 平成24年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント						その他 (注)1	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	酒類	加工用 澱粉	酵素 医薬品	不動産	バイオエ タノール	合計			
売上高									
(1) 外部顧客に 対する売上高	35,798	2,045	1,799	198	463	40,304	23	—	40,328
(2) セグメント間の 内部売上高又は 振替高	1	—	—	—	—	1	—	△ 1	—
計	35,799	2,045	1,799	198	463	40,305	23	△ 1	40,328
セグメント利益又は セグメント損失(△)	521	126	434	141	△ 23	1,200	6	—	1,207

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、倉庫業・荷役業等であります。

2 調整額は、セグメント間の取引消去であります。

3 セグメント利益又はセグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成25年1月1日 至 平成25年6月30日)

(単位：百万円)

	報告セグメント						その他 (注)1	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	酒類	加工用 澱粉	酵素 医薬品	不動産	バイオエ タノール	合計			
売上高									
(1) 外部顧客に 対する売上高	35,409	2,109	2,226	190	530	40,467	34	—	40,501
(2) セグメント間の 内部売上高又は 振替高	1	1	—	—	—	2	—	△ 2	—
計	35,411	2,110	2,226	190	530	40,470	34	△ 2	40,501
セグメント利益又は セグメント損失(△)	286	△ 3	768	134	△ 74	1,111	4	—	1,116

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、倉庫業・荷役業等であります。

2 調整額は、セグメント間の取引消去であります。

3 セグメント利益又はセグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。